

令和5年高野町20歳を祝う会

祝 20歳おめでとう



高野町中央公民館
 ☎ 56-2076
 高野町教育委員会
 ☎ 56-3050



後列 (左) 相馬啓佑 三谷康世
 前列 (左) 西本爽帆 岸本杏都 上田和凜 田島鈴夏

今年は成年年齢が20歳から18歳に引き下げられてから、初めての開催でした。昨年の成人式同様、20歳を迎える皆さんが、企画・運営を行う実行委員形式で行われ、進行役として岸本杏都さんが司会を務められました。

20歳を代表し、西本爽帆さんが「人にはそれぞれ輝いて見える瞬間というものがあります。心惹かれるものに出会ったとき、努力が実を結んだとき。新しい景色が目の前に広がったとき。何かの始まりに立ったとき。今日のような心温まる成人式を迎えられた瞬間もまた、輝いて見えます。

校庭で無邪気に遊んでいた私たちも二十歳となり、人生の大きな節目を迎えました。

家族や先生方、地域の皆様温かく見守っていただきながら、この高野山という素敵な場所での学び、成長できたことは幸運であったと感じています。

考え方や感じ方、接し方など日々変化をしながら、大人への階段を一つずつ上る私たちですがその中で私は、忘れずにいたい言葉があります。

「人生は選択の連続である」

これは父がくれた言葉です。私たちは日々あらゆる選択をしながら生きています。何を取るかで私たちの未来は少しずつ変化していきます。自身で選んだ先にあるものに大きな不安を感じることもあるでしょう。その責任の大きさに怖さを感じることもあるでしょう。また時には、自身のした選択に後悔の念を覚えることもあるでしょう。しかし、自分で道を選ぶとき、輝いて見える方に進むことが大切なように思います。そうすれば、きっと、道の途中で失敗したとしても、もう無理だと諦めてしまったとしても、これもまた良い経験だったと感じると思います。そして、新たな輝きを求めて、歩みを一歩、また一歩と進めることが出来るように思うのです。自分の心に嘘をつかず、恐れず、信じた道を歩んでいきたいと思えます。」と力強く述べました。また、自己紹介では一人一人が壇上で、家族への感謝の思いや、自らの現状、そして夢や目標を語ってくれました。

令和5年1月7日(土)高野町中央公民館において高野町20歳を祝う会が執り行われました。本年20歳を迎える方は12名で、20歳を祝う会には6名が出席し、人生の節目を迎えられました。

第22回

和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

紀三井寺公園陸上競技場から和歌山県庁前までの21.1km(10区間)をタスキをつなぐ「第22回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会」が開催されます。(1月12日現在)

2月12日(日)

午前11時スタート

今年は、総勢19名のジュニア駅伝チーム、厳しい寒さの中、少しでも上の順位を目指し一生懸命練習に取り組んでいます。高野町の代表として、タスキをつなぎ走る子どもたちに、町民皆様の応援をよろしくお願いいたします。

高野町ジュニア駅伝チームメンバー

学校名	学年	選手氏名	学校名	学年	選手氏名	学校名	学年	選手氏名
高野山小学校	5年生	楠 明 将	高野山小学校	6年生	高 井 悠 弘	高野山中学校	2年生	井 上 和 樹
	5年生	柘 植 多 雄		6年生	田 中 香 奏		2年生	岡 本 龍 憲
	5年生	中 迫 秀 太		6年生	富 田 真 依 子		2年生	井 上 廉 斗
	5年生	東 華 綸		6年生	林 は な		2年生	児 玉 宗 之 介
	6年生	奥 村 周 誠	1年生	楠 公 博	3年生		新 家 静 佳	
	6年生	田 川 慧	高野山中学校	1年生	東 彌 佑			
6年生	高 木 奏 汰	1年生		下 芽 生				

(1月12日現在)

高野町学びの教室

今年度から町民の参画を得て、子どもたちと共に様々な体験・交流活動を行うことで幅広い世代間交流と子どもたちの健全育成を図るため、「高野町学びの教室」を高野山小学校で開催しております。これまでの取り組みをご紹介します。

華道教室

6月29日

【華道高野山】を学ぶ、いけばな教室を開催しました。先生は、五味和樹さん・三星みほさん・平田周加さんの3名でした。この日はとても暑かったのですが、初めて体験する子がほとんどで、華道に興味津々でした。先生からお花の名前やお花の表裏の話、生け方のポイント等の話をよく聞き、集中してお花をいけていました。それぞれの個性が光る、とても素敵ないけばなになりました。



農業体験教室

第1回:9月5日 第2回:9月9日 第3回:9月15日 第4回:10月4日 第5回:12月22日

全5回で【和歌山大根】を種から育てて自分たちで食す農業体験教室を開催しました。種はJA紀北かわみ高野支店からご提供いただきました。先生は、森本英明さんでした。

第1回は土づくりを体験しよう！第2回は肥料ってなんだろう？第3回は大根の種をまこう、第4回はまびき菜ってなんだろう？第5回は収穫・食べてみよう！のように各回毎にテーマをきめて取り組みました。雨や雪の日の開催もありましたが、みんな元気よく積極的に取り組むことが出来ました。まびき菜は菜飯に、収穫した大根は味噌汁で食べました。「美味しい！」や「おかわり！」と元気な声が聞こえてきました。自分たちで育てた大根は特別美味しく感じられたのではないのでしょうか。



まちの電気屋さんの電気教室

11月14日

まちの電気屋さんによる「電気教室」を開催しました。先生は林恭行さんでした。

電気器具に実際に触れる機会もあり、普段は触れることの少ないブレーカーやアンテナに触れることができ、子どもたちは興味津々でした。

- こまめに電気を消しましょう（但し、勉強の時は明るく！）
 - 家族みんなで一緒に過ごし電力消費を抑え、仲良く過ごしましょう。
 - 地震などで避難する時はブレーカーを落としましょう。
- の3つのことを覚えて帰りました。教室後のアンケートでは、この3つを家族にしっかりと伝えてくれている様子が伺えました。



各教室後にはアンケートへの回答をお願いしていました。こどもたちからは「すごく楽しかった！」や「ちょっと難しかった！」との感想が。保護者からは「机上での勉強だけでは感じることができない学びが出来ていると思う」や「スポーツ教室をしてほしい」、「数珠づくりや書道体験教室をしてほしい」等のご意見、ご感想が寄せられました。

引き続き、学びの教室では様々な体験活動を予定しておりますので、ボランティアや支援員にご興味のある方はぜひお問い合わせ下さい。

【問合せ先】高野町放課後教室運営委員会 高野山小中学校学校運営協議会
(教育委員会 社会教育係内 mail.shakai-kyouiku@town.koya.wakayama.jp TEL.0736-56-3050)



将来の夢

高野山小学校5年 中迫 みなみ

わたしの将来の夢は、看護師になって、日本人の治療も外国から来た人の看護もできるようにすることです。この夢を持った理由は、日本人や外国人に関わらず、誰でも助けられるのが、すごくいいなと思ったからです。この夢を実現するために大切だと思うことは3つあります。1つ目は、誰にでも挨拶をしたり、誰にでも親切にしたりすることです。挨拶や親切にすることは、もちろん大切だけれど、「誰にでも」というところが特に重要です。なぜなら、看護師になったら、知らない人ともたくさん接するから、今のうちに慣れておいた方がいいと思うからです。2つ目は、何をするとともに、責任を感じながら行動することです。看護師は、患者さんを助けるという、責任重大な仕事です。だから、責任感や看護師になるために必要だと思いました。3つ目は、外国語を勉強することです。外国語を覚えれば、もちろん外国から来た人と話すことは出来ません。ですので、しっかりと外国語を勉強しようと思います。そんなふうに、将来の夢のために今からできることが何なのかを理解して、行っていこうと思います。そして、将来、憧れの看護師になれる日がくるのかなと思います。



将来の夢

高野山小学校5年 山階 萌唯

私の将来の夢は、留学することです。私が留学したい理由は、2つあります。1つ目は外国の事をたくさん知って外国の人達と交流を深めたいからです。交流する事によって日本とはちがう文化や伝統についてたくさん知りたと思います。2つ目は外国の文化について知り、日本との違いについて学びたいからです。そのためには英語の勉強をしたり、うまく会話ができたりするようにインテネーションに気をつけたいと思います。このように色々な事に頑張りたいと思います。また、留学する夢が叶ったら、いろんな人に英語の楽しさをたくさん知ってもらいたいと思います。そのころ面白いことを紹介できるようにしたいと思います。



将来の夢

高野山小学校5年 東 華輪

私の将来の夢は2つあります。1つ目はお菓子を作れるようになる事です。なぜかというハロウィンにオバケクッキーを作っている動画を見たり、誕生日にお母さんが作ってくれたタルトを食べたりして「色々なものを作りたいな」と思ったからです。2つ目は車の整備士になる事です。そのわけはお母さんのお兄ちゃんが車のタイヤをかえに来てくれたときにタイヤをかえる手伝いをし、「楽しいな。また色々なものを取りかえたいな」と思ったからです。そのために頑張りたい事が2つあります。1つ目は車の部品の名前を覚える事です。車の部品を覚えていないと故障したときに「〇〇の部品を持って来て」と言われても何の部品も分からないからです。2つ目は車の種類を覚える事です。車の種類によって部品の位置が違うので、ウィンドウッシャー液やエンジンオイルを点検するといったときにそれが何かならなかつたら点検できないと思います。そして私は、これらの夢を叶えるために、お母さんと一緒にケーキを作ったり、勉強したりしたいと思っています。



将来の夢

高野山小学校6年 高岡 佑衣

私の将来の夢は、巫女になることです。巫女は、古くは、神の言葉（声）を聞く事が出来る超能力者のことで、現代においては、神社で神様に仕える女性のことをいいます。この夢を持ったきっかけは、母が学生の頃に地元の神社に頼まれて巫女として御神楽を舞って奉納したと聞いたからです。また母はその頃の神社でのお祭りや行事の話も聞かせてくれました。それらを聞いていて楽しかったことから、私も巫女になりたいという気持ちを持ってようになりました。この夢を実現することができるよう、勉強や生活のことを努力し続けていこうと思います。そして、立派な一人前の巫女となって、家族に喜んでもらえる日が来るといいなと思います。



将来の夢

高野山小学校6年 中村 悠理

僕の将来の夢は、自衛隊員になることです。なぜこの夢を持ったかという、もし日本が他国に攻められることがあったときに日本を守るために役に立ちたいと思ったからです。他にも地震などの災害が起こったときに困っている人たちを助けることができるからです。もし、僕が自衛隊に入ることができたら、陸上自衛隊の隊員になって、戦車に乗って機銃の訓練をしたり、実戦を想定したサバイバル訓練などをしたりしてみたいと思います。自衛隊員になったら、厳しい訓練が待っていると思います。だから、今からしっかりと体を鍛えておきたいです。また、作戦を指示したり、聞いたりますことや防大に入るためには学力も大切なので、今から勉強にもしっかりと頑張りたいと思います。



将来の夢

高野山小学校6年 高井 悠弘

僕が、大人になったら、したいことが3つあります。1つ目は車の免許を取ることです。なぜなら、免許をとればどこでも行けるからです。しかも、買い物で重いものがあったら家に持って行くのが便利だからです。2つ目は、働いてお金を稼げるようになりたいです。お金を稼いで大きなマンションに住みたいです。お父さん達は僕たちのために、働いて、もらったお金で電気代、水道代を払い、ごはんも作ってくれるからすごいなと思います。3つ目は、ハムスターをたくさん飼うことです。なぜならハムスターがとてもかわいいからです。特にトンネルを通るハムスターがかわいいです。何匹も飼ったらお金がかかるので頑張って稼ぎたいです。



将来の夢

花坂小学校6年 掛 有毅

僕の将来の夢は、2つあります。1つ目は、車に乗って日本のいろいろなところに運転していくことです。この夢を持った理由は、僕が行きたいところがたくさんあるからです。その中でも特に行きたいのは、東京と青森です。なぜかというと、東京は、一回も言ったことがないからです。僕はりんごが大好きだから、青森県りんごをたくさん買いたいです。2つ目は、消防士になることです。理由は、火事や病気や怪我で亡くなる人がたくさんいるから、それを減らしたいと思ったからです。あと、お父さんが消防団に入っていてかっこいいと思ったからです。僕は、みんなからかっこいいと思われるような消防士になりたいです。この夢を叶えるために、勉強や運動をたくさんして行きたいです。



将来の夢

高野山小学校6年 結城 晴斗

僕の将来の夢は、動物を保護する人になることです。この夢を持ったのは、最近、小さな子猫を保護し、その子猫をかい始めたことがきっかけです。この世界には、子猫だけでなく、色々な動物が捨てられています。だから自分の出来る限りの動物を救いたいです。その夢を叶えることができれば、たくさんの動物とふれあいたいです。そして生き物を、大切にしたい人に生き物を捨てたらだめなことを伝えていき、動物を捨てる人を少なくしたいです。そして捨てられて死んでしまう生き物も減らしたいです。僕は将来たくさんの生き物を救い、生き物と仲良く過ごしながら働いていきたいと思います。そのために、しっかりと勉強して、いろんなことにチャレンジしていきたいです。



将来の夢

高野山小学校5年 井口 実大

僕の将来の夢は、プロサッカー選手になることです。この夢を持ったきっかけは、僕が小学1年生のときに学校の休日でサッカーをしたことです。それから僕は休日でずっとサッカーをしました。あまりにも楽しすぎてサッカーボールを買ってもらい毎日夜遅くまでサッカーをするようになりました。しかし、休日でサッカーをやると負けることが続いてサッカーがイヤになりました。そのことで休憩時間にサッカーをするのをやめました。でもそんなとき、友達に「サッカー一緒にやろうよ」と声をかけてもらい、久しぶりにやってみると、やっぱり楽しくてサッカーをまた続けるようになりました。そしてそのうちに、プロサッカー選手にもなりたい気持ちが出てきて、絶対プロになりたいなと思いました。この夢を叶えたいことは、ワールドカップで優勝することです。でも、それを実現するには今からしっかりと練習することが必要だと思うので頑張って練習をしたいです。



将来の夢

高野山小学校5年 井上 実紀

私の将来の夢はパティシエになることです。理由は2つあります。1つ目は、3年生の時に、妹のバースデーケーキを買いに行ったケーキ屋さんで買ったケーキクッキーを見て他のお客さんが喜んでいて、帰って妹にケーキを見せて喜んでいたので、私もみんなを笑顔にできるケーキクッキーを作ってみてみんなを笑顔にさせたいと思いました。2つ目は、ケーキクッキーのデザインを考えた時、お客さんのオーダーや季節にあった食材からケーキを作ったりしている店員さんがかっこよかったからです。この夢を叶えるために私は、まず、言葉遣いや計算を早くしたり出来るように頑張ろうと思いました。そして、パティシエという自分の夢を目指して何事にもチャレンジしていきたいです。



将来の夢

高野山小学校5年 岡本 綾音

私の、将来の夢は画家になる事です。理由は2つあります。1つ目は、私が保育園のときに先生が毎日絵を描いてくれて笑顔をたくさんもらったからです。だから私も元気がなかったり、つらい事があって落ちこんだりしている人たちに自分の絵を見せて笑顔がもどってくるようにしたいです。もし自分があまり有名にならなくてもできるだけ多くの人に見てもらって世界中が笑顔で溢れるようにしたいです。2つ目は、絵を描いていると楽しい気持ちになるからです。最近では毎日絵を描いています。元気がないとき絵を描いていると絵を描くのに夢中になっていつの間にか楽しくなっています。だから、これからも絵の練習をたくさんして絵を上手に描きたいです。



将来の夢

高野山小学校5年 今井 悠貴

僕の将来の夢は、プロゲーマーになってYouTube配信をすることです。この夢を持った理由は、休日はいつもゲーム実況を見ていて、「僕も面白い動画を作って人気者になりたい」と思ったからです。また、YouTuberになって課金企画でアプリ内購入ができるものも夢を持った理由の1つです。この夢を叶えたいことは、僕の動画を見てくれる視聴者さんたちを笑わせたり、すごいなと思わせたりすることです。できたら、超有名になっていろんな有名実況者やコラボもしたいです。だからゲーム実況者になるという自分の夢を目指して何事にも一生懸命頑張ろうと思います。

卯年生まれの高野の宝



第47回 高野町文化表彰式



令和4年、文化表彰式が11月3日(文化の日)に挙行されました。

文化賞：東山泰清氏、文化功労賞：村木弘育氏、文化奨励賞：井戸陸雄氏の3名の方に高野町文化協会会長、徳富義明より賞状並びに記念品が贈られました。



令和4年度
受賞者紹介

【文化奨励賞】

井戸 陸雄氏

高野町高野山在住

この度文化奨励賞を受賞された井戸 陸雄氏は高野町出身の建築士である。建築士としての仕事と併用して趣味の範囲で写真を撮り始め、現在は写真家としても活動を行い、長年にわたり高野町文化祭や高野町総合診療所、社会福祉協議会などにも作品を出展している。様々な高野町の風景を写真に収め、歴史を記録し続け現在に至る。写真を撮り始めたのは15年前からで、本業の建築士として建築物を撮影し始めたことがきっかけである。当時は趣味の範囲で高野町の風景や人物などを撮り始めた。その後、本格的に写真家として活動し始め高野山内の森林鉄道をはじめ、高野山内のすべての神社や社寺建築物の資料写真をカメラに収めた。平成26年には紅葉を映した一枚が、霊宝館主催もみじ祭りフォトコンテストの金賞を受賞した。

井戸氏が今まで撮った写真の枚数は1万枚を超える。それらの写真は、高野山の美しい風景を収めたものだけではなく森林鉄道など、変わりゆく高野山の風景を残す歴史的資料としても貴重なものである。井戸氏の作品は芸術作品としてのみでなく歴史資料としても評価されるものである。



もみじ祭りフォトコンテスト 金賞受賞作品



令和4年度
受賞者紹介

【文化功労賞】

村木 弘育氏

高野町高野山在住

この度文化功労賞を受賞された村木 弘育氏は18歳から表具師の父村木康悦氏のもとで修行をし、父親の没後も家業の表具一筋に高野山における数多くの文化財の修復に尽力してきた。常に「後世に残す」という信念のもとに技能の研鑽に励んでいる。村木氏は文化財の保護・保全を最優先に考え古来からの素材を用いる。襖の制作では、丈夫で長持ちすることに加え燃えにくいとされる「間似合」という泥を施した手漉きの紙を多く使う技法を使っている。また裏肌には国指定重要無形文化財の薄美濃紙を使用し、下貼りには楮紙、裏張り、裏縛り、袋貼りを施すなど、脈々と受け継がれてきた匠の技を引き継いでいる。高野山の数多くの文化財の修復・保存に果たした功績は多大であり文化財の保全に対する想いは偉大である。

【施行実績】

- 金剛峯寺庫裡大広間襖 修復仕立て直し
- 金剛峯寺伽藍内金堂十二天六曲屏風 仕立直し
- 奥の院山水屏風 仕立直し
- 遍照光院庫裡古画襖 修復仕立直し



令和4年度
受賞者紹介

【文化賞】

東山 泰清氏

高野町高野山在住

この度文化賞を受賞された東山 泰清氏は高野山蓮花院の名誉住職である。平成28年には法印を務めた。昭和14年高野山生まれ、県外の大学で学び知識を深め20代で高野山に戻り、僧侶としての修行を始める。僧侶としての修行を行う傍ら、自己研鑽のため社会奉仕活動等の様々な活動を通じ見聞を深めてきた。東山氏は、そこで得た知識を自分のものとするのみでなく、様々な活動を通じて、周囲の人々にも共有するという社会教育推進活動を永年精力的に行ってきた。このような活動が評価され、若くして社会教育委員に任命され、その後半世紀近く社会教育委員を務め、社会教育推進に尽力してきた。その活動は、高野町に留まらず、伊都地域や和歌山県でも社会教育委員協議会で長く要職を務め、東山氏発案の研修会などを通じ社会教育を推進してきた。

また東山氏の活動は、国内だけに留まらず海外にまで及ぶ。代表的な活動としては数十年に及ぶモンゴルと日本の国際交流活動がある。遅れていた医療の発展への尽力や元寇敵味方の鎮魂供養など数多くの社会奉仕活動を通じて交流を活発化してきた。この活動はモンゴル大統領から直接感謝の意を伝えられた。

東山氏が行ってきた様々な活動は、多くの人々の模範となるべきものであり、高野町の文化発展に寄与した功績は多大である。